

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	1	独自の理念がケアについてが中心で、理念の共有化が出来ていない。	ケアの事だけでなく全体的に理念の共有化を考え実践していく。	理念に沿った言葉や内容を、スタッフ同士が申し送りやスタッフの会話の中に共通した認識をもてるよう取り組んでいく。 6ヶ月
2	6	玄関ドアがオートロックになっている為、拘束をしないホームにする。	日中、玄関ドアのオートロックを数時間開放する。	玄関ドアのオートロックを初め拘束についてどこまでが必要性であるかをスタッフ同士話し合いや身体拘束について勉強会を開催し認知症介護に対して、どこまで必要なことなのか・どのような影響があるのか等を考え取り組んでいく。 12ヶ月
3	10	家族面談では、ご家族様の要望や意見を引き出せるように事案を伝えていく。	利用者様やご家族様の意見や要望を運営に活かしていく。	家族面談で事案を挙げて、ご家族様にどんな些細な事でも思いや意見を聞き出してケアと運営に繋げる取り組みをしていく。 12ヶ月
4	20	ケアプランが記録や目標に対して、一貫性になるように作成されていない。	支援が変更になった時点でモニタリングを行い、記録とケアプランを一貫性にしていく。	ケアプランを基に支援に基づいた記録を書く。モニタリングを具体的にあげて項目を考えていく。 6ヶ月
5	26			 ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。